

工学部の教育目標と3ポリシー

教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は、高度な専門職業人の養成教育において、ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し、困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士(工学)」の育成を目指します。そのため、次の教育の目標を掲げます。

1. 「ものづくり」においてグローバルな活躍ができる技術者・研究者を目指す学生に、幅広い教養と高度な専門能力を育む。
2. 獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより、人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養う。
3. 高度の工学技術や知識を、実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養う。
4. 豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき、自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養う。
5. 社会的な責任を担いつつ、グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養う。

学位授与の方針(ディプロマポリシー)

工学部は、本学部所定の期間在学し、「自主自律と進取の精神を有する学士(工学)」(高度職業人)の養成のため各学科にもうけた学位プログラムを計画的に履修し、所定の単位を、所定の学期・年間・累積GPAで修得し、次のような内容の学士力を修めた学生に、学位を授与します。

1. 教養教育関連科目の履修を通して、主体的に倫理観、価値観に対する理解を深め、多様な文化・社会・自然の係わりを総合的に把握し、専門領域を超える諸課題に挑戦・探究する能力を身につけている。
2. 各専門分野における体系的学修と分野を横断する学際的学修および卒業研究等の学修を通して、知識活用力、論理的思考力、課題探究力、問題解決力、情報発信力、コミュニケーション力、生涯学習力、創造的思考力等を備えている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

工学部は、「自主自律と進取の精神を有する学士（工学）」を育成するため、教育内容の順次性・系統性に配慮した体系的編成の学位プログラムを構成する教育課程（教養教育および専門教育）において、以下のような方針による質の高い教育を、高等教育における単位制度の仕組みに基づき実践します。

1. 幅広い視野と多様な価値観を育み、進取の精神を有する技術者・研究者としての豊かな人間性と倫理観を得させるため、教養教育を実施する。
2. 高等学校教育からの連続性に留意しつつ、その上に各専門分野の基礎から応用までの理論・技能を習得させるため、基礎教育を実施する。
3. 工学知識・技術を発展させる汎用的な専門能力を得させるため、技術者・研究者として必須の専門教育を実施する。
4. 学修した知識・技能・学習方法等を総合的に活用し、諸課題の解決に応用する能力を育成するため、研究活動を礎とする教育を展開する。
5. 地域社会および国際社会において進取の気風をもって活躍できるよう、その基盤となるコミュニケーションの能力を向上させるため、語学教育を推進する。
6. 生涯にわたって、自らが主体的に対応する自己管理能力を育くむため、対話を根幹とした自主学習を支援する個別指導に基づく教育を行う。

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

工学部は、本学部の教育目標に共感し、グローバルに行動できる次のような人を、国内外から広く求めています。

1. 求める人材像

- (1) 工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
- (2) 工学の面白さを学びたい、ものづくりに取り組んでみたい、技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
- (3) 自ら考え、主体的に学修する目的意識が明確で、そのための学修意欲が高い人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に各学科での専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力。

3. 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

前期日程では、大学入試センター試験で5教科7科目、個別学力検査で数学（数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）と理科（物基・物、化基・化から1）及び外国語（コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ）を課し、基礎学力・思考力等を評価、また、後期日程では、大学入試センター試験で3教科5科目、個別学力検査で小論文を課し、基礎学力・論理的思考力等を評価。